NPOクラブ
10周年記念

News Letter

つぎの一歩くん

Vol.33

特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ　2009.09

「人件費」を集計しよう！

Q. 数名のボランティアやパート職員に活動をお願いしているNPOです。支払ったお金は経費として処理し、「決算さえできればそれでいい」と思っていましたが、会計講座で「人件費」としての集計表を作成するよう指導を受けました。どのように考えたらよいか教えてください。

源泉徴収義務も団体にあります

A.

●「人件費」について、一般的な経費と同一に捉えて出納処理をしている団体が多く見受けられます。特に新しい団体に多いです。「人件費」は支払って終わりではありません。

●不定期の活動（月3～4回程度）に対する小額の「日当」については、経費扱いでよいでしょう。ただし団体内で規約を作成し、確認しておくことが必要です。その金額が一般的な金額を超える場合は、「給与」とみなされる可能性があります。

●定期的・継続的な金銭の支給は「給与」に該当しますので、「人件費」として区分集計が求められます。税務署に「給与支払事務所等の開設届出書」を提出する必要があり、毎月の源泉徴収や年末調整、住民税の特別徴収などの作業が入ります。団体として、所得に係わる税金の徴収義務を負っていることを認識してください。

●また、一定額以上の収入になると社会保険や労働保険への加入にも発展しますので、「人件費」の集計は本当に大事なことです。まずは税務署にある小冊子「源泉徴収のあらまし」の確認から始めてみてください。

NPO クラブ 10 周年記念講演

人と地域を幸せにする仕事

地域貢献活動はなんと110種類！不動産会社・大里綜合管理のヒミツを聞きました

去る 6 月 6 日に開催したNPOクラブ 10 周年記念レセプションには 52 名が参加。大里綜合管理株式会社の野老真理子さんによる記念講演では、「具体的な実践事例を聞いて元気が出た！」との声が多く寄せられました。その一部をご紹介します。

大里綜合管理株式会社
代表取締役　野老真理子（ところまりこ）さん

不動産業を安定した仕事に

大里綜合管理は、九十九里浜のちょうど真ん中にある大網白里町で今年 36 年目になります。父がいないもので、母が 5 人の子どもを大学まで出したいと思って作った会社です。長女の私は母の苦労をずっと見てきて、高校・大学時代は母の所でアルバイトをし、卒業と同時に就職しました。

私が母からもらった命題は、「不動産業は時期によって売れる・売れないがはっきりしている仕事。就職しても不安定な会社ではしょうがない。管理の仕事を増やして会社を安定させてほしい」というものでした。九十九里浜は土地神話の時期に、小間切れに分譲されて放置されている地域です。不在者さんの土地を預かって草刈りをさせてもらう、これが管理です。私が入社した時は 500 人くらいのお客様でしたが、それをひとつずつ調べて、「草刈りさせてもらえませんか」と積み上げて、10 年で 6 千人のお客様になりました。

50 坪までの宅地は年 2 回草刈りして、その都度写真を撮って、来られた時は現地までご案内して、定期的な刊行物を送って、頂くお金が 1 年に 1 万 5 千円です。そんなにたくさんの利益がある仕事じゃありません。それでも 10 人くらいの社員さんが食べられる、安定した仕事にしました。

「気づく訓練」で会社の環境整備

私が社長になって 16 年目、売り上げはほとんど変わらずに 5 億、6 億の会社です。不良債権の処理から始まって、しっかりとした財務内容、しっかりとしたお客様がとても大事だと思って取り組んできました。

我が社は 2 つの特徴があります。ひとつは、徹底した環境整備をする会社だということ。例外なく毎日、1 日 1 時間、営業に優先させて掃除をします。これは、お客様の声に気づく、時代に気づく、危険に気づくというような「気づく訓練」として導入したものです。

我が社は引き出しの中にある全てのものに名前が付いています。同色同種類のペンは 2 本以上ありません。どんな風に扱われていっても必ず戻ってくる。個人の机も、引き出しもなくなりました。社員さんとお客様が飲むお茶碗も、座る椅子も机も一緒になりました。毎日掃除をしながら、気づく訓練をやって積み上げてきたことです。

よく不動産業は何がいくらとペタペタ貼ってありますが、我が社は掲示物も一切ありません。アパートがほしい、土地がほしいと言われたら、すべての情報が 10 秒で取り出せる、そういう訓練をしてきて今に至っています。このプロセスがもうひとつの特徴である地域貢献活動を生んできました。

毎月発行している情報紙のひとつ。顧客に送り続けて 20 周年を迎えた

学童保育から始まった地域貢献活動

私は働きながら結婚し、3 人の子どもを生み育てました。長女が小学 1 年生になったとたんに問題発生、夏休みどうするか。私だけじゃなく社員さんの何人かもそうだ、ではどうする。そう思った時に、私もこの会社で自己実現する、子どももこの会社で豊かに育ってほしいという発想で、夏休みの学童保育を始めました。販促費 50 万円を計上して先生を雇い、最初は先生のお家で、次に私の家を開放して、今は会社でやっています。15 年前に学童保育が始まって、いろんな地域貢献活動が生まれてきました。

会社・社員の価値を高める
もうひとつのこころみ。

2008 年度千葉県「民が民を支える地域資源の循環システム」モデル事業でNPOクラブが企画編集した冊子「ちばのCSR実践事例集」は、大里綜合管理の学童保育が表紙を飾っています。お読みになりたい方はNPOクラブまで

現在 110 のプログラムがあり、それぞれに目標や担当を明確にして、販促活動であり社員教育であると位置づけています。たとえば朝、駅前の交通渋滞でバスが入らない。私たちは駅頭で 3、4 人が交通整理をしています。「何の資格を持ってやってるんだ」と言われることもありますが、権力を持たずに対等に、どうやって地域の方たちに思いを伝えるかの訓練をしています。

㈱大里綜合管理「第 35 期経営計画書」より抜粋

基本方針3　社会的責任を果たします
創立以来、仕事のできた九十九里地域に感謝し、
待ったなしの環境問題や社会問題を真正面から受け止め、
この地域における「社会的責任ある企業」として、
豊かなまちづくりの一翼を担います。

35 期重点課題
1. これまで積み上げてきた地域貢献活動の目標や担当を明確にし、具体的な行動計画をつくり、そのひとつひとつを丁寧に取り組みます。
2. 「住民一人一貢献」を合言葉に、より多くの人たちとの出会いを通して、「語り合いの場」や「活動の場」を作っていきます。
3. サポートセンターの立ち上げに協力します。

3 年前の 12 月 29 日、大きな土地を買いに来てくださったお客様が、「いつもありがとう」と。その方に帽子と制服を着せたら、バスの運転手さんだった。「みんなのお陰で助かってるよ」と言われた時はうれしかった。不動産の担当はその時泣いてました。そういうドラマが毎日あります。

コミュニティレストランは活動発信地

「コミュニティダイニングおおさと」は、ワンデイシェフのお店です。我が社の 2 階の多目的ホールで、地域の主婦が日替わりシェフになって、1 日 30 食限定、800 円の定食を作ります。我が社は 800 円のうち 3 分の 1 を場所代、光熱費、備品管理、コーディネーター料として頂き、3 分の 2 はその日のシェフが持って帰ります。誰もそんなに儲からないけれど、誰も損しない。「小さなお店をいつかは、一度はやってみたかった」という人たちが作って、地域の方たちに「ありがとう、おいしかったよ」と言ってもらえるレストランです。

30 席すべて相席にして、1 人で来た方が誰かと知り合いになれて、少し元気になれて、情報も貯えて帰って行けるようにしてあります。

引っ越してきた方が「この町は何もないわ」と最初は愚痴を言う。「少し手伝うから一緒にやろうよ」と食事しながらヒントをもらって、通っているうちに「やろう」となる。このレストランで、様々な地域貢献活動が生まれています。

「どうしてそんなにやれるんですか」と聞かれた時、嬉しいことに最近はこんなセリフを社員さんたちが言ってくれます。「最初は嫌だった。でも、やれちゃうんです。喜んでくれるお客さんたちがいると、やっぱりこれは大切だったんだなって思えるんです」と口々に言っているのを見て、これでいいんだなと思います。どうぞ大里に遊びに来てください。いつでもOKです。ありがとうございました。

（文責　NPOクラブ）

2009年度ちばのWA！基金「一歩くん募金」助成　11月より募集開始

★ＮＰＯクラブは、2000 年度より「一歩くん基金」助成を実施してきましたが、名称を「ちばのＷＡ！基金」と改めて、「公益ポータルサイトちばのＷＡ！」と連動する基金に発展させることとなりました。

★「ちばのＷＡ！基金」に使途を委任された寄付金を 2009 年度「一歩くん募金」として一括し、11 月より募集を開始します。

「公益ポータルサイトちばのＷＡ！」への団体登録が応募の条件！

詳細はこちら ⇨ http://chibanowa.canpan.info

団体情報を登録して「一歩くん募金」にチャレンジ！

「一歩くん募金」助成説明会＆団体登録サポート会

2009 年度「一歩くん募金」助成への応募条件のひとつは、「公益ポータルサイトちばのＷＡ！」内の「ちばＮＰＯ情報館」に団体登録すること。未登録の団体の方を対象に、情報の入力と登録をサポートします。助成申請の相談もできます。当日は団体のリーフレットや 2 年度分の総会議案書などをご持参ください。

日　時　10/13（火）13:30～16:00
場　所　千葉市ビジネス支援センター　パソコン研修室（京成千葉中央駅徒歩 5 分）
対　象　「公益ポータルサイトちばのＷＡ！」に未登録のＮＰＯ、市民活動団体
定　員　20 団体
資料代　500 円／人
内　容　「地域資源循環システムちばのＷＡ！」の紹介／「一歩くん募金」助成募集について／パソコンで団体情報の入力作業

NPO応援講座

はじめてでもOK！NPOの会計講座

日　時　11/26（木）13:30～16:30
場　所　千葉市民活動センター　会議室
（千葉都市モノレール「市役所前」駅徒歩 1 分）
講　師　伊庭洋司さん
（ＮＰＯクラブ理事・相談担当スタッフ）
内　容
・ＮＰＯ法人の会計の基礎
・日常の会計業務の留意点
・伝票の使い方
・現金出納帳のつけ方
・簡単にできる月々の試算表作りと点検
定　員　20 名
受講料　1,500 円

NPOの税務講座

日　時　11/13（金）10:00～16:00
場　所　千葉市文化センター　会議室 4
（千葉駅徒歩 10 分）
講　師　加藤達郎さん
（税理士、ＮＰＯクラブ専門家相談ネットワーク）
内　容
・収益事業、非収益事業の区分
・謝金や給与の源泉預かりについて
・法人税について
・税の申告について
定　員　20 名
受講料　4,000 円

編集・発行
特定非営利活動法人
ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)
■Tel　043-303-1688　　Fax　043-303-1689
■〒261-0011　千葉市美浜区真砂 5-21-12
■E-mail　npo-club@par.odn.ne.jp
■URL　www2.odn.ne.jp/npo-club
■会員　57 団体・個人 109 名